

介護職員初任者研修シラバス・科目別特徴

事業者 社会福祉法人 清香園

研修名称 清香園福祉学院 介護職員初任者研修

1 職務の理解				
項目番号・項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義・演習の内容
①多様なサービスの理解	3時間	3時間		【講義】 <ul style="list-style-type: none"> 介護保険サービス・介護保険外（障害者等）のサービスについて 介護保険による居宅サービスの種類。 介護保険における施設サービスの種類。 【演習】 <ul style="list-style-type: none"> 施設サービスと在宅サービスの違いについてディスカッションする。
①介護職の仕事の内容や働く現場の理解	3時間	1時間		【講義】 <ul style="list-style-type: none"> 多様な居宅・施設サービスを理解する。 講義のほか視聴覚教材も活用しながら理解を深める。 ケアプランからサービス提供までの一連の流れを知る。 関係機関や関係職種のイメージを持つもらう 人権と尊厳を支える介護を考える。 【演習】 <ul style="list-style-type: none"> 居宅、施設サービスにおける介護職の仕事と内容について討議する。 【実習】 <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホームを見学し介護職の具体的なイメージを深める。
合計	6	6		

2介護における尊厳の保持・自立支援				
項目番号・項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義・演習の内容
①人権と尊厳を支える介護	1.5時間	1.5時間		<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護における権利擁護と人権尊重について理解する。 ・虐待を受けている高齢者への対応について ・ICFの視点とQOLの考え方・自立に向けた支援（残存能力の活用） <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護における尊厳保持の実践について具体的事例を基に検討する。 ・ケーススタディから自立支援のあり方について討議する。
②自立に向けた介護	7.5時間		7.5時間	<p>【添削課題のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護の視点は何か。 ・ICFの特徴を考える ・高齢者虐待の対応のあり方を考える。 ・日常生活自立支援事業とはどのようなことをするのか学ぶ。
合計	9	1.5	7.5	

3 介護の基本				
項目番号・項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義・演習の内容
①介護職の役割と多職種 の連携	1.5時間	1.5時間		【講義】 ・介護環境の特徴の理解 ・訪問介護と施設介護の違いを理解する。 【演習】 ・地域包括ケアシステムをめぐる動きについてにより討議する。
② 介護職の職業倫理	1.5時間	1.5時間		【講義】 ・介護の専門性 ・利用者主体の支援姿勢について討議する。 ・チームケアのあり方について学ぶ ・自立した生活を支えるための援助について討議する。 ・介護にかかわる職種 ・介護にかかわる職種を知る。 【演習】 ・介護職の職業倫理について討議する。
③介護における安全の 確保とリスクマネー ジメント	2時間		2時間	【添削課題のポイント】 ・事故予防・安全対策（転倒・転落等） ・感染源、感染経路について
④介護職の安全	1時間		1時間	【添削課題のポイント】 ・介護職の健康管理（腰痛予防）
合計	6	3	3	

4 介護・福祉サービスの理解と医療の連携				
項目番号・項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義・演習の内容
①介護保険制度	1.5 時 間	1.5 時間		【講義】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険制度の目的、背景と動向について ・ 介護保険制度の仕組みの基礎的理解 ・ 介護保険制度の基本的枠組み ・ 保険給付と種類と内容 ・ 制度を支える財源、組織・団体の機能と役割について討議する。 ・ 地域支援事業について 【演習】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療との連携について討議する。 ・ 障害者総合支援制度との関連について討議する。
①医療との連携とリハビリテーション	5.5 時 間		5.5 時 間	【添削課題のポイント】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療行為について ・ 介護職と看護職の連携
③障害者総合支援制度及びその他の制度	2 時間		2 時間	【添削課題のポイント】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者総合支援制度の流れについて
合計	9	1.5	7.5	

5 介護におけるコミュニケーション技術				
項目番号・項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義・演習の内容
①介護におけるコミュニケーション	3時間	3時間		【講義】 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの意義と目的を学ぶ ・コミュニケーション技法について知る（視聴覚教材の活用） ・高齢者の心身状況を理解しながら、言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションについて学び、利用者の思いを把握する ・看護職と介護職の連携について 【演習】 <ul style="list-style-type: none"> ・ケーススタディ後、それぞれ役（利用者、介護職、観察者）を決めロールプレイで模擬体験をする。 ・利用者・家族とのコミュニケーションのとり方（ロールプレイで模擬体験）
①介護におけるチームのコミュニケーション	3時間		3時間	【添削課題のポイント】 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者と家族のコミュニケーションについて ・バイステックの原則について ・記録の目的
合計	6	3	3	

6 老化の理解				
項目番号・項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義・演習の内容
①老化に伴う心と体の変化と日常	3時間	3時間		<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老化に伴う心身の変化の特徴（視聴覚教材） ・高齢者の疾病と日常生活の留意点 ・社会的環境の変化と心理 ・心身の機能変化と日常生活への影響 (身体、感覚器、呼吸器、循環器、骨・関節、泌尿器、記憶等) <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の模擬体験から日常生活の不便さについて討議する。
②高齢者と健康	3時間		3時間	<p>【添削課題のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老化に伴う身体機能の変化を知る。 ・老化に伴う咀嚼機能について知る。 ・高齢者の便秘の要因を学ぶ。
合計	6	3	3	

7 認知症の理解				
項目番号・項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義・演習の内容
① 認知症を取り巻く状況	1.5時間	1.5時間		【講義・演習】 ・ 認知症を取り巻く状況について学ぶ。 ・ 認知症のケアの視点について討議する。
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1.5時間	1.5時間		【講義・演習】 ・ 認知症の概念。 ・ 認知症者の事例を通して考える。(視聴覚教材) ・ 認知症者への具体的対応について事例を用いてロールプレイをする
② 認知症に伴う心と体の変化と日常生活	2時間		2時間	【添削課題のポイント】 ・ 認知症と物忘れの違いについて考える。 ・ 認知症の人の生活障害、心理、行動の特徴について学ぶ。
④ 家族への支援	1時間		1時間	【添削課題のポイント】 ・ 認知症者の対応について考える。
合計	6	3	3	

8 障害の基礎的理解				
項目番号・項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義・演習の内容
①障害の基礎的理解	0.5 時 間	0,5 時間		【講義】 ・ 障害の基本的理解、ICF の考え方 ・ 障害福祉の基本理念（ノーマライゼーション）について 【演習】 ・ 障害者の地域環境と地域福祉を討議する。
②障害の医学的側面、生活障害・心理・行動の特徴かかわり支援等の基礎的知識	1 時間	1 時間		【講義】 ・ 障害の医学的側面、生活障害、心理、行動の特徴、かかわりの支援などの基礎知識について知る。（身体障害、知的障害、視覚・聴覚障害等について） 【講義】 ・ 視覚障害者の体験としてブランドウォークを実施し感想を出し合った後、地域の交通機関や関係機関等のあり方を討議する。
②家族の心理、かかわり支援の理解	1.5 時間		1.5 時間	【添削課題のポイント】 ・ 家族の理解と障害の受容の支援について考える。 ・ リハビリテーションの定義について学ぶ ・ 障害を持った人への介護上の留意点
合計	3	1.5	1.5	

9 こころとからだのしくみと生活支援技術 I				
項目番号・項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義・演習の内容
①介護の基本的な考え方	3時間	3時間		<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護の概念・定義について考える。 ・利用者主体について ・生活意欲を引き出す介護について学ぶ。 ・法的根拠に基づく介護について <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きがいと自己実現（将来の夢）について討議。
②介護に関する心のしくみの基礎的理解	3時間	3時間		<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習と記憶に関する基礎知識（視聴覚教材） ・感情と意欲に関する基礎知識 ・老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因 <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーススタディを実施し意欲を引き出すための対応について討議する。
③介護に関する体のしくみの基礎的知識	4時間	4時間		<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体各部の名称と働き ・骨・関節・筋肉に関する知識とボデイメカニクスの活用 ・ボデイメカニクス理論について学び実技をする。 ・中枢神経と末梢神経について（視聴覚教材） ・体性神経と自律神経について ・自律神経と内部器官（感覚器、呼吸器、消化器、泌尿器内分泌）の関係について <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボデイメカニクス理論について学び実技をする。 ・呼吸の機序について（人体図を用いて外呼吸、内呼吸を説明、呼吸数、脈拍等の測定をする。
合計	10	10		

9 こころとからだのしくみと生活支援技術 II

項目番号・項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義・演習の内容
④生活と家事	6時間	6時間		<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事援助の技術 ・生活と家事の理解（自立生活を支える家事とは） ・家事援助のポイントについて討議 ・家事援助に関する基礎知識 ・在宅での金銭管理について <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事援助の技術 ・調理の援助についてデモンストレーション ・洗濯・掃除・ゴミ捨て等のポイントについて討議 ・衣類・寝具とうの衛生管理について討議 ・買い物の援助についてデモンストレーション
⑤快適な居住環境整備と介護	5時間	3時間 2時間 (実習)		<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快適な居住環境の基礎知識（視聴覚教材） ・快適さを妨げる要素について討議 ・高齢者に配慮した洗面、浴室、台所等について討議 ・高齢者・障害者の居住環境の整備 ・介護保険サービスの福祉用具、住宅改修について <p>【実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム等の施設環境を見て、高齢者への住宅環境のあり方について討議する。
⑥整容に関連する心と体のしくみと自立に向けた介護	6時間	6時間		<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身支度を整える意味 ・自立生活を支える身支度の介護について留意点 ・装うことの意味について討議する <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整容の支援技術（洗面、整髪等）のデモンストレーション ・衣類の着脱（片麻痺や寝たきり者）のデモンストレーション

<p>⑦移動、移乗に関連した心と体のしくみと自立に向けた介護</p>	<p>12 時間</p>	<p>9 時間</p>	<p>3 時間</p>	<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移動、移乗に関する基礎知識 ・ 社会参加と外出先の留意点について討議 ・ 体位交換の方法（視聴覚教材を用いながら）と実技 <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 褥瘡予防について実技指導 ・ 移動、移乗に関する福祉用具の活用を討議する ・ 移動・移乗に関する演習 ・ 手すり、歩行器、杖の使い方デモンストレーション <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車いすの操作についてデモンストレーション ・ 安楽な体位の保持と体位交換のデモンストレーション <p>【添削課題のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神機能の低下が移動に及ぼす影響について ・ 身体機能の低下が移動に及ぼす影響について ・ 外出支援の留意点について
<p>⑧食事に関連した心と体のしくみと自立に向けた介護</p>	<p>8 時間</p>	<p>6 時間</p>	<p>2 時間</p>	<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事に関する基礎知識 ・ 食事に関連した心のしくみ ・ 食事に関連した体のしくみ（誤嚥予防も含む） ・ 姿勢、嗜好を知る、環境等について討議・検討する。 <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事関連用具を展示し用具の使い方を実技。（とろみアップやゼリー食を作り試食体験する） ・ 口腔ケアについて（デモンストレーション） ・ 入れ歯の管理 <p>【添削課題のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誤飲、窒息の予防について学ぶ。 ・ 脱水の予防について考える。 ・ 口腔ケアの目的や効果を知る。
<p>⑨入浴・清潔保持に関連した心と体のしくみと自立に向けた介護</p>	<p>3 時間</p>	<p>3 時間</p>		<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入浴の意義・目的について ・ 入浴に関連した心や体のしくみ（視聴覚教材） ・ 入浴・清潔保持に関する福祉用具でデモンストレーション ・ 入浴の介助方法について実技指導 <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部分浴（手、足、陰部、頭等）介助をデモンストレーション

⑬介護過程の基礎的理解	6 時間	6 時間		<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 根拠に基づいた介護過程について ・ 介護過程の展開について ・ 情報収集のしかた ・ 計画に基づいたプランの実施 ・ 実施内容の評価について <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護過程とチームアプローチについて討議する。
⑭総合生活技術演習	4 時間	4 時間		<p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心と体の力が発揮できない要因の分析事例（ケーススタディ） ・ 高齢（要支援 2 程度、認知症、片麻痺、座位保持不可）の事例を分析・討議する（ケーススタディ） ・ 事例を基に介護過程を展開する。
合計	10	10		

(10) 振り返り				
項目番号・項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義・演習の内容
①振り返り	1時間	1時間		【演習】 (個人ワーク、グループワークにより以下について記載する) ・研修を通して学んだこと ・今後継続して学ぶこと ・根拠に基づく介護の要点を再確認
②就業への備えと研修終了後における継続的な研修	3時間	3時間		【講義】 ・最新の介護知識の付与に関心が持てる ・継続的に学ぶ(OFF-JT,OJT)の紹介 ・就業への心構えと現場に対する具体的なイメージを持ち就業に向けた決意表明、自己研鑽の具体的内容・方法について述べる。
合計	4	4		
総合計	130時間	96.5時間	33.5時間	